

1. 援助の目的と意義

東ティモールの安定と発展は、アジア太平洋地域の平和と繁栄に重要との認識の下、我が国はこれまで、同国の平和の定着・国づくりへの取組に対して他ドナーとともに積極的に協力してきた（東ティモール独立前の1999年から支援を開始）。我が国は、オーストラリア、米国、EU、ポルトガルとともに、東ティモールに対する主要援助国の一つとなっている。

2002年5月の独立以降、東ティモールにおいては国づくりが着実に前進しており、同国は2011年7月に発表した中長期国家計画にあたる戦略的開発計画（SDP）を踏まえ、石油・天然ガス依存型経済からの脱却及び産業の多角化を目指している。同時に地方の開発の遅れ、教育、保健、水供給など社会サービスの不足等の課題への取り組みも必要である。

東ティモールがASEANの早期加盟に向けて、政治・治安、社会・文化、経済の3分野における必要な課題改善に取り組み、他の東南アジア諸国との連結性を高めつつ、貿易・投資・雇用機会の拡大を図ることが重要である。

2. 重点分野

対東ティモール国別開発方針（2017年5月策定）において、
①経済社会基盤（インフラ）の整備・改善、
②産業の多様化の促進、
③社会サービスの普及・拡充
を重点分野として支援を実施することとしている。
また、分野横断的に制度構築、人材育成に取り組んでいる。

3. 対東ティモール開発協力実績

スキーム	額（累計）／人数（延べ）
円借款	52.78億円
無償資金協力	382.97 億円
技術協力	170.01億円
JICA海外協力隊	延べ137人 （2024年2月時点）

* 政府開発援助（ODA）国別データ集2022（JICA海外協力隊実績除く）
円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

4. 円借款の概要

2011年度、我が国として初の対東ティモール円借款「国道1号線整備事業」の供与を決定。2012年3月のシャナナ・グスマン首相訪日の際、東京において両国首相立ち会いの下でE/N署名を実施。なお、当該案件は同国にとって初の対外借入となった。

国道1号線整備事業
供与額：52.78億円、交換公文署名：2012年3月
同国で最も交通量の多い幹線道路である国道1号線（ディリ～バウカウ間）をアジア開発銀行と協力をして整備することを通じて同国の道路網の構築を図り、もって同国の経済発展に寄与するもの。



5. 無償資金協力

持続可能な国家開発の基盤づくり支援として、重点3分野において、港湾、橋梁、大学校舎整備等のJICAを通じた大型支援に加え、国際機関、日本NGOや現地NGOを通じ、多岐にわたる方法で支援を実施している。

例えば、各地の学校、保健センター、上水施設等の建設を支援、防災、環境対策、母子保健を含む保健、野菜、コーヒー、花などの栽培などを通じた地方農家の所得向上や栄養改善を支援。

最近の主な案件

プレジデント・ニコラウ・ロバト
国際空港整備計画
供与額:49.01億円
E/N署名:2021.10.1

東ティモール首都の国際空港を整備するため、旅客ターミナルビルを新設する案件。

民主的ガバナンス支援のための国営放送施設整備計画(UNDP連携)
供与額:8.36億円
E/N署名:2023.8.11
国営放送局(RTTL)の講堂、放送スタジオ及び職員執務室を備えた放送施設の建設を行うとともに、国営放送職員の能力強化支援を実施。

災害リスク削減・復旧機材整備計画
供与額:約8億円
E/N署名:2023.1.12
建設機材を更新・整備することにより、災害リスク削減と復旧能力強化を図る。調達機材としては、排水ポンプ車、油圧ショベル、ブルドーザー、ダンプトラック等。

6. 技術協力

東ティモールの発展における大きな障害のひとつは、あらゆる分野における人材不足であるとの認識の下、人材育成を重要な課題として、開発政策や農業政策をはじめとするアドバイザー派遣や、東ティモール国立大学工学部に対する支援等を実施。また、各種行政分野について研修員の受け入れを行っている。ASEAN加盟を促進するための支援にも取り組んでいる。

最近の主な案件

東ティモール国立大学工学部大学院設立支援 協力期間:2023年～2025年

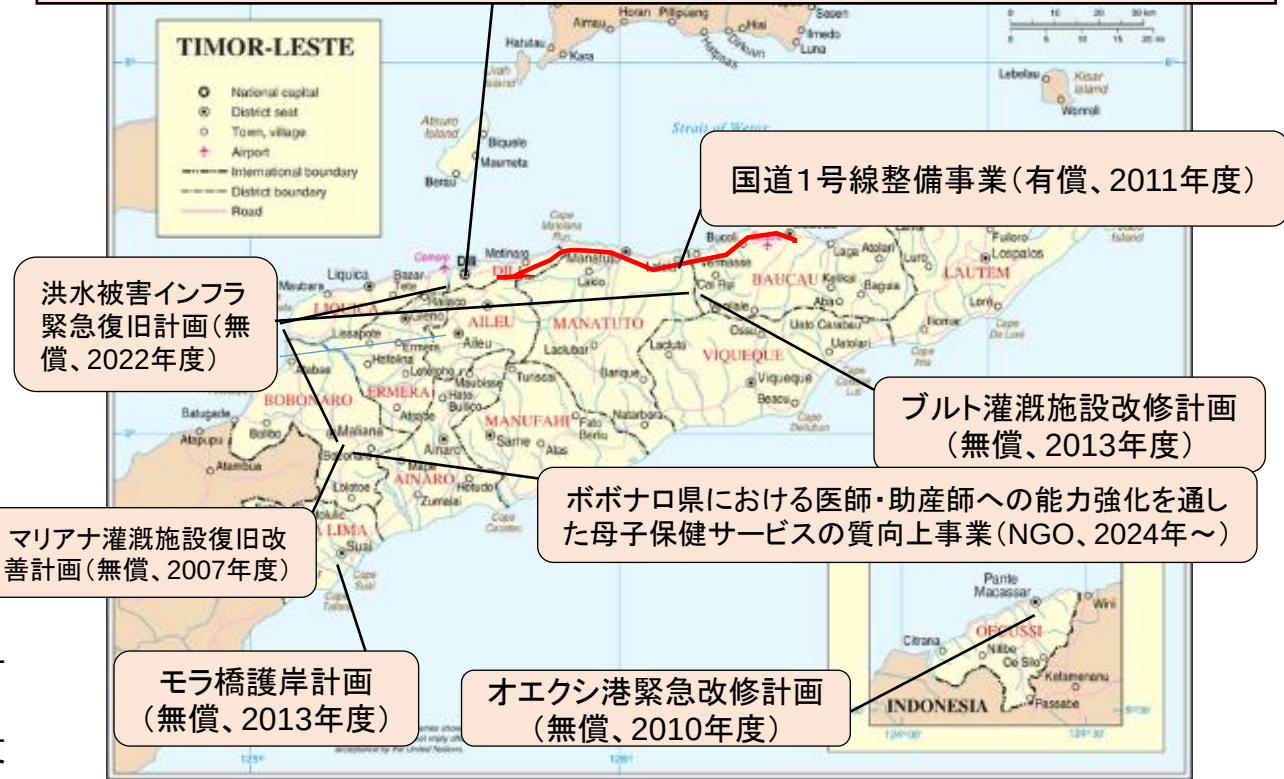
UNTL工学部の大学院設立支援のため、日本の山口大学、岐阜大学、九州大学等から専門家を派遣し、支援する予定。

国産米の生産強化による農家世帯所得向上プロジェクト 協力期間:2016年～2023年
マナット県及びボボナロ県において、国産米増産に向けた栽培技術、灌漑施設の維持管理技術、国産米流通販売モデルの構築を通じて農家のコメ生産による農業所得向上を支援。フォローアップのため専門家を派遣予定。

その他主な開発協力プロジェクト ※プロジェクト開始年度を記載。

<ディリ>

コモロ川上流新橋建設計画(無償、2015年度)
東ティモール国立大学工学部新校舎建設計画(無償、2015年度)
ディリ港フェリーターミナル緊急移設計画(無償、2016年度)
ベモスーディリ給水施設緊急改修計画(無償、2009年度)
水道事業運営改善プロジェクト(技術協力、2020年度～)



<全国・広域対象>

地域保健センターにおける基礎的緊急産科・新生児ケア施設整備計画(UNFPA連携、2023年度～)
人材育成奨学計画(無償、2018年度～)
ネットゼロ排出と気候強靱な開発に向けた太平洋グリーン・トランスフォーメーション強化計画(UNDP連携)(ディリ県、マナット県、マヌファヒ県、アイナロ県対象)(無償、2022年度～)
重点流域における森林減少抑制及び気候変動強靱化のためのランドスケープ管理能力向上プロジェクト(技プロ、2022年度～)